

神奈川私学保連 NEWS

神奈川県
私学保護者会
連合会



神奈川県私学保護者会連合会 会長 佐藤 昭

(横浜創英中学高等学校 後援会会長)

伝えることの大切さ

みなさんはじめまして、今年度から会長を務めることになりました佐藤昭です。保護者の皆様には日頃から私学保護者会連合会の活動にご協力をいただき、ありがとうございます。年2回実施の研修事業等を通して保護者会連合会会員の横のつながりも大切にしていきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

私は横浜で生まれ育ち、自称横浜っ子です。子どもの頃を思い出すと横浜では、いまは「横浜スカーフ」として知られている産業の「捺染(なっせん)」が盛んにおこなわれていました。現在の保土ヶ谷区を流れる帷子川(かたびらがわ)や南区を流れる大岡川、大岡川から分かれた中村川の流域も当時は、生地に染め付けた余分な染料や糊を落とすために川の水が使われていました。今では、川の汚染問題に発展するようなことも知れませんが、横浜開港からの「捺染」の歴史です。そして横浜の伝統的な「捺染」は海外にも広く知られ、横浜を貿易港として発展させた経緯があります。最近では、以前100社以上あった「捺染」の会社がいぶんと少なくなったと聞いています。とても残念なことですが、おそらく立地や環境を含めた工場の経営上の問題や技術を維持する後継者、職人の問題等がある

と思っています。それでも「捺染」からの「横浜スカーフ」が現在でも受け継がれているのはとても大切なことではないでしょうか。

2年ほど前になると思いますが、ある新聞に「101歳、きみに語る命 日野原さん授業10年」の記事がありましたので紹介します。その授業は、2003年に始まり、海外の日本人学校も含めて、これまでの授業は200回を超えたと伝えていました。日野原 重明さんはお医者

さんで、1911年生まれですから当然、私の大先輩です。1970年3月に、福岡で行われる会議へ出席のため、搭乗した旅客機で「よど号ハイジャック事件」に遭遇しました。「ハイジャック」の意味を知らなかった日本人乗客の為に自ら手を挙げ、「ハイジャックとは飛行機を乗っ取って乗客を人質にすることです」と機

内で説明したエピソードがあります。この日野原先生によると10歳はもう大人だということ。目や耳は鋭いし、お父さんやお母さんの気持ちは読めるし、先生の目から先生の性格が読みとれるほど成長しています。大人は10歳を子どもだと思っていますが、十分に成長している

ので、「いのちの授業」ができるそうです。日野原先生の「いのちの説明」は、い

のちは見えないし、さわれないし、感じられません。子どもたちに「昨日も今日も見えないけれど、寝たり、勉強したり、遊んだりするのは、きみたちの持っている時間を使っているんだよ。時間を使っていることが、きみが生きている証拠。時間の中にいのちがあるんだよ」と、伝えていきます。そして、先生は子どもたちに、周りの大人達は君たちのために少しづつ時間を使ってくれていますが、いま、君たちは自分自分のために時間を使っています。それは君たちが成長するためには必要な事なんです。今は自分のために使っている時間を大きくなったら人のために使える人になって下さい。

先生のいのちを愛する人間になってほしいという教えは、自分だけのためではなく、家族や友達など、他の人のために何かができる人間になってくださいと伝えていく事に私はとても共感しました。現代は多くの情報が行き交っています。伝えていくことの大切さを保護者のみなさまと共有していきましょう。

11月24日(火) パシフィコ横浜会議センターで「神奈川県私立中学校・高等学校校振興大会」が開催されます。中断の時期がありました。再開し今年で3年目を迎えています。私学に通う子どもたちの保護者にとって、公立と私学の学費負担の格差を強く発信する大切な大会と位置付けています。多くの心強い参加を期待しています。

平成27年度

定時総会の開催

今年度の定時総会は5月22日（金）に崎陽軒本店（横浜駅東口）で開催されました。神奈川私学（小・中・高）の保護者会連合会の加盟校88校中、出席校27校、委任状提出校37校で総会は成立いたしました。出席者は、各校から119名、現役員12名、来賓1名、保護者会交流会7名となりました。

まず、保護者会の市川昌廣会長が挨拶し、次に来賓として、私立中学高等学校協会の工藤誠一理事長（聖光学院理事長・校長）からご挨拶をいただきました。議長は鴨下博厚理事で議事に入り、平成26年度事業・決算報告と平成27年度事業計画・予算が提案され、すべて原案通り承認されました。つぎに原大蔵会計理事より5号議案の保護者会連合会規約改正について提案があり、承認されました。浅見昌宏役員推薦委員長からは6号議案の役員改選について提案があり、12名の役員（理事）が承認されました。今年度は会長に佐藤昭前副会長（横浜創英中学高等学校後援会会長）を迎え、市川昌廣前会長、玉園篤敏前副会長は顧問として引き続きご尽力いただきます。

理事の皆様には公私ともにご多用の中、役員をお引き受けくださり、ありがとうございました。神奈川私学保護者会連合会の加盟校、会員の皆様には、これからも本連合会の諸事業のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

来賓あいさつ



私学補助の増額に ともに手を取り合いましょう

一般財団法人 神奈川県私立中学校高等学校協会

理事長 工藤 誠一

（聖光学院中学校高等学校 理事長・校長）

教育は時代の要請にこたえて子弟を教育しなければならぬ使命を担っております。地球規模が大きくなりグローバル化が進み英語が話せないとい国内での就業の選択の幅も制約されるほです。また、ICTの使いこなしも社会で生きていくための必須の条件となりつつあるようです。

一方でこうした要請に対応していくためにはより充実した教育環境の整備が必要になります。私学といえども公教育の一翼を担っている以上、相応の補助金が支払われてしかるべきであると考えております。

残念ながら神奈川県の私学に対する経常費補助金は国の財源措置額を大幅に下回っています。財源措置額というのは国家予算の段階で地方交付税交付金として私学に対する助成として神奈川県に振り当てられた予算額です。2015年のこの金額は生徒一人当たり約320,000円ですが地方交付税であることから神奈川県の場合一人当たり298,000円、中学生の場合は一人当たり313,000円が215,000円と大幅に低くなっているのです。高校、中学ともに全国的には最下位のレベルにあります。

多摩川を越えた東京都を比較すると東京都の私学助成は高校生一人当たり384,000円、中学生一人当たり361,000円となっています。東京都と神奈川県の場合は高校生で84,000円、中学生では

146,000円というものすごい格差になっているのです。

この背景としては神奈川県財政状況そのものが逼迫していたということもあります。しかしながら私も私学協会としてはこの事態を打開すべく2013年から私学振興大会を保護者連合の皆様とともに開催してまいりました。目標は、国が私学に通う生徒一人当たりの金額として算定した財源措置額と同額を経常費補助金として獲得することでありました。

本年も11月24日パシフィコ横浜におきまして2015年神奈川私学振興大会を黒岩神奈川県知事にご臨席いただき開催いたします。そしてこの振興大会で私たちの熱い思いを知事に対してぶつけることで目標を達成してまいりたいと考えております。

私学はそれぞれの学校が建学の精神を持ち、教育に対して共通した考えを持つ人たちが団体を中心となつて、日本の長い歴史の中で次々と設立されてきました。現在でも、設立時の教育への熱い思いや考えは理念としてまとまり、時を経て徐々に体系化されていき、私学の教育の中心に位置づけられています。

近代私学発祥の地である神奈川私学がより一層の充実した教育環境を整えられますよう保護者の皆様とともに歩みたいと考えております。皆様に力強いご支援をお願いしてご挨拶とさせていただきます。



平成27年度 神奈川県保護者会連合会役員のみなさま

浅見 会計理事 (立花学園)
市川 会計理事 (武相学園)
深谷 理事 (藤嶺学園)
吉成 理事 (横須賀学院)
前迫 監事 (横浜富士見丘)
金子 監事 (高木学園女子)
玉園 顧問 (平塚学園)

原 副会長 (聖光学院)
鴨下 副会長 (洗足学園)
佐藤 会長 (横浜創英)
市川 顧問 (横浜学園)
深沼 副会長 (横浜清風)

●平成27年度 神奈川県私学保護者会連合会 役員

役職名	氏 名	所属父母会 (PTA)・役職名
会 長	佐 藤 昭	横浜創英中学高等学校後援会 後援会会長
副 会 長	深 沼 昭 彦	横浜清風高等学校PTA 常任顧問
	原 大 蔵	聖光学院中学高等学校聖光会 理事
	鴨 下 博 厚	洗足学園中学高等学校 洗足会会長
理 事	吉 成 みち子	横須賀学院中学高等学校 教育賛助会会長
	深 谷 祥 子	藤嶺学園藤沢中学高等学校PTA 担当役員
会計理事	浅 見 昌 宏	立花学園高等学校PTA 参与
	市 川 千 恵	武相中学高等学校PTA後援会 相談役
監 事	金 子 晃 久	高木学園女子高等学校PTA 顧問
	前 迫 由 香	横浜富士見丘学園中等教育学校PTA 副会長
顧 問	市 川 昌 廣	横浜学園高等学校後援会 後援会会長
	玉 園 篤 敏	平塚学園高等学校父母の会 会長

特別功労表彰



市川昌廣 顧問

功労表彰



玉園篤敏 顧問

平成27年7月18日(土)開催の日本私学保護連合会において、神奈川県私学保護連の市川昌廣(前会長)、玉園篤敏(前副会長)が表彰を受けました。改めて平成28年度定時総会でご紹介いたします。

日本私学保護連平成27年度
功労者表彰

私立学校への「経常費助成補助」の
増額を求めて

土井県議会議長へ請願・署名を提出
9月8日 神奈川県庁新庁舎

台風18号が近づく雨の中、私立中学高等学校協会役員4名と私学保護者会連合会の役員5名が県庁を訪問し、私立学校の保護者負担の軽減と教育条件の維持向上に向けた、私学への「経常費助成補助」の増額等の要望を県議会議長に提出しました。

6月11日に全加盟校にお願いした「経常費助成補助」に関する署名は、全校の学校・法人・保護者代表から、249名が集まりました。県庁新庁舎の会議室において、中高協会の田沼光明副理事長と保護者会連合会の佐藤昭会長が代表して、土井隆典(どうりゅうすけ)県議会議長に提出しました。

平成27年度の「私学振興費」の総額は、昨年度に比べ減額となっています。その内容は、「私立高等学校等生徒学費補助」は増額されたものの「私立高等学校等就学支援事業費」は減額となっています。なかでも、「私立学校生徒学費緊急支援事業費」の減額や最も大事な私学経営の柱となる「経常費補助」は対前年度2.1%の減となっており、私学への県費助成の増額を強く要望します。

神奈川県立の私立高等学校等への生徒一人あたりの「経常費助成」は、高等学校、中学校、中等教育学校ともに国の財政措置である基準単価を大幅に割り込み、全国道府県別に比較すると中学校が全国でワースト1位、高等学校がワースト2位という低い水準です。

神奈川県に学ぶ生徒たちが、保護者の経済状況に左右されず、より自由に学校選択ができる教育環境をつくるために、私学への助成は極めて重要なことと考えます。

これからも「経常費助成補助」のさらに増額を求める取組について、全加盟校のご協力をお願いします。



特別演奏会

●平成27年5月22日

●場所

崎陽軒本店



ヴァイオリン	村上	華織	さん
ヴァイオリン	佐々木	利奈	さん
ヴィオラ	金井	ゆみ	さん
チェロ	灘尾	彩	さん



(司会) 平成27年度神奈川県私学保護者連合会特別演奏会をこれから始めたいと思います。まず始めるにあたりまして演奏者のご案内をさせていただきます。

洗足学園音楽大学を卒業後幅広くご活動されている御四方になります。お名前を読み上げさせていただきます。バイオリン村上香織さん、バイオリン佐々木利奈さん、ビオラ金井ゆみさん、チェロ灘尾彩さんです。以上4名の方にお会いします。大きな拍手をもってお迎えください。

演奏

みな様、こんにちは。ただ今演奏しましたのは、モーツァルトが作曲しました「アイネクライネ・ナハトムジーク」という曲です。ご存知の方も多いのではないのでしょうか。「アイネクライネ・ナハトムジーク」はドイツ語で一つの小さな夜の音楽という意味なんです。日本語では「小夜曲」と呼ばれることも多くて、モーツァルトが1787年に作曲されました。おそらくモーツァルトの作品の中で、一番有名な曲ではないかと思えます。とても美しく、軽やかでな曲なんです。

れど、演奏するのは実はとても大変な曲です。

続きましてロシアの作曲家チャイコフスキーの「花のワルツ」をお届けします。この花のワルツという曲は「くるみ割り人形」の中の一曲でして、チャイコフスキーは三つの大きなバレエ曲をつくりました。「白鳥の湖」「ねむりの森の美女」「くるみ割り」の三つの大きなバレエ曲です。その中の「くるみ割り人形」の中で「花のワルツ」はおそらく全曲、13曲中一番華やかな曲ではないでしょうか。お聞きください。

演奏

ありがとうございます。「アイネクライネ・ナハトムジーク」と「花のワルツ」をお届けしました。続きましてご覧になった方も多いと思いますが、NHK朝の連続テレビ小説2010年のてっぱんのテーマ曲である「ひまわり」、葉加瀬太郎さんが作曲されました。もう一曲は昨年のNHK連続テレビ小説「マッサン」より「むぎのうた」です。中島みゆきさんが作詞・作曲されてとてもいい曲です。

演奏

ありがとうございます。ドラマのワンシーンを思い出したのではないのでしょうか。実は私はテレビを余り見ない人で、この曲も全然知らなかったのですけれど、今回この演奏会をさせて頂くにあたり、この曲をいろいろ調べまして歌詞に心を打たれました。本当にいい曲だなあと思いました。

続きましてがらっと曲想を変えて参ります。アルゼンチンの作曲家、またバンドネオン奏者でもあります、アストラピアソラさん、ご存知でしょうか。ピアソラさんが作曲しましたリベルタンゴ・曲名は大変有名なんです。リベルタンゴという言葉は実際にはない言葉でして、リベルタル自由と、タンゴを組み合わせてピアソラさんがつくった造語なんです。自由のタンゴ、新しい音楽のジャンルを開拓した方でもありまして、大変有名になった曲です。もう一つは「情熱大陸」、テレビを見ない私ですが情熱大陸は知っています。そちらのエンディングテーマでありますエトピリカ、葉加瀬太郎さんの曲です。この曲をお届けいたします。

演奏

余談なんですけれど「エトピリカ」はアイヌ語で「くちばしの美しい鳥」という意味だそうです。私もこれを調べまして本当に美しい鳥でした。葉加瀬さんの楽曲とクチバシの美しい鳥というのが関係しているかどうかは不明です。2曲続けてお聞きください。

それではここからはジブリ作品から2曲、ミュージカル作品から1曲お届けしたいと思えます。まず、2001年に公開されました「千と千尋の神隠し」より「千尋のワルツ」、1989年に公開されました「魔女の宅急便」より魔女の宅急便のメドレー、ミュージカル作品よりサウンドオブミュージックのメドレーをお届けいたします。

このサウンドオブミュージックは1959年に公開されて、今もおおくの多くの人に愛されているミュージカルではないでしょうか。私も小さな頃母に見せてもらってたくさん好きな曲を聞きました。この映画を見られた方もたくさんいらっしゃると思います。これらの中には「ドレミの歌」「エーデルワイス」「私は「ドレミの歌」「エーデルワイス」「私

のお気に入り」「そつだ、京都に行こう」のCMで有名な曲がたくさん含まれていますので、どうぞ楽しんで聞いてください。

演奏

私も弾きながらいろんなシーンがよみがえってきました。また、がらっと曲想を変えまして「少年時代」「川の流れるように」をお贈りします。この少年時代、余談ですけど小さな頃父親が口笛を吹いておりまして、何の曲だろうと聞いたら「少年時代」「少年時代」と言っていました。大人になって初めて井上陽水さんの曲だと知りました。いい曲だと思います。「川の流れるように」は言わずと知れた美空ひばりさんの名曲です。お

聞きください。

演奏

ありがとうございました。心にぐっとくる美空ひばりさんの曲でした。早いもので最後の曲となりました。最後は弦楽四重奏ドヴォルザークが作曲した「アメリカ」という曲です。チェコのプラハの近郊に生まれたドヴォルザークは、生まれた家は「お肉やさん兼宿泊施設」という施設で生まれたということですが、ちよつと謎ですね。お父さまは家業を継がせたかったのですが、ドヴォルザークはとても音楽が好きで、皆様から右手に見えますピオラ、とオルガンで作曲をしながら生計を立てていたようです。1892年ドヴォルザークが51歳のとき

心に響く弦楽四重奏の調べ

神奈川県私立保護者会連合会 副会長

鴨下 博 厚

(洗足学園中学高等学校 洗足会会長)



定時総会がつづがなく終わり、コーヒープレイクをはさんで、特別演奏会が始まりました。今年は、洗足学園音楽大学の卒業生で、現在はプロの演奏者として活躍している方々4名をお招きし、素晴らしい弦楽四重奏を披露していただきました。ヴァイオリン2台とヴィオラ、チェロの4つの楽器で奏でる演奏はとても重厚かつ繊細で、生で聞く楽器演奏の素晴らしさを堪能することができました。

演奏会では、モーツァルトやチャイコフスキーといった弦楽四重奏に相応しい曲目の他、サウンド・オブ・ミュージックのメドレーなど、参加者が良く知っている曲目も織り交ぜて演奏していただき、1時間以

上に渡る演奏会はあっという間に終了となりました。

昨年の定時総会後の特別演奏会では、フルートとハープによる二重奏を楽しみましたが、今年もそれぞれの楽器の味わい深い音色と、ハーモニーの美しさを味わうことができました。予定の曲目が終わった後も、会場は余韻に包まれて拍手が鳴り止まず、アンコールを数曲演奏していただきました。

演奏会終了後は、演奏者4名ともにとても晴れやかな笑顔であったことが印象的でした。彼女たちにとっても、満足のいく演奏だったのかもしれない。たった4つの楽器であれだけの音色を奏でることができ、彼女たちは、私にとっては「魔法使い」そのものでしたが、心地良い時間を過ごすことが出来て、とても満足な時間となりました。

今回の演奏会の開催において、演奏者との橋渡しをしてくださった洗足学園の先生方に心から感謝を申し上げます。

転機が訪れます。昔よりあこがれていましたアメリカへの留学が決りまして、アメリカのニューヨーク音楽院の院長を務めることとなりました。ドヴォルザークは黒人霊歌、民謡、インディアン音楽、現地の音楽にとても興味をもち、強い影響を受けました。これらを作曲に生かしアメリカ的な素材を使いながら、また自分のルーツであるチェコの音楽、自身自身を見つめ直す、そのような作曲を致しました。日本でもとても有名だと思うんですけど、「交響曲第九番新世界」もこの時代に作曲されたといわれています。本日は第一楽章をお聞かせください。

また、余談ですがドヴォルザークはとても電車好きで、「鉄ちゃん」だったそうです。鉄道の音、電車が走るような、だんだん出発して進むようなポップと言った音が随所に出てきますのでそちらもお楽しみください。本日はありがとうございました。

演奏

ありがとうございました。アンコール曲として、デイズニーの「眠れる森の美女」より「いつか夢で」を送ります。本日は長い間ありがとうございました。

演奏

(司会) とてもすてきな演奏ありがとうございました。保護者会の佐藤会長よりお言葉をいただきます。

(会長) 本日はありがとうございました。また、お忙しいところご無理なお願いをしたようでありがとうございました。総会の後ということで曲目にもいろいろなお気づかいたしまして、本当に心とむような雰囲気でした。ありがとうございました。皆様におかれましては本当に

ありがとうございました。もう一度大きな拍手をお願いしたいと思います。(司会) 役員の方から心ばかりですが、お花を贈らせていただきます。本当にありがとうございました。暖かい拍手をお送りください。保護者の皆様には長い間おつきあいいただきました。本当にありがとうございました。これをもちまして特別演奏会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。



平成27年度日私保護連総会・研修会

副会長 原 大蔵
(聖光学院後援会理事)

7月17日(金) 日本私学保護者連合の総会に初めて出席しました。私も役員6年目となり、現在の私学を取り巻く環境を改善しなければならぬという強い意思を感じました。

神奈川県の中(小)学校も概ね同様)の場合、一人当たりの公・私間の公費負担の差額は60万円強(公立約80万円・私学約20万円)です。義務教育である前期中等教育において、私立を選択した場合の差額は義務教育を受ける権利の価格であると考えるのが妥当ではないでしょうか。神奈川県の私立中学に通う生徒は約27万人ですから差額の総額は162億円分となります。私見ですが、我が子によりよい教育を受けさせるために経済的負担が増えても仕方がない。簡単に言えば「お金には代えられないからがんばるしかない」ということです。国力の高揚にもつながる教育について、自己負担をしても子供によりよい教育を受けさせたいと思う保護者の願いは多いと思います。すべての子供たちに学校選択の自由を与えることの大切さを信じて今後も活動していきたいと思っています。



日私保護関東地区代表者会・研修会

監事 金子晃久
(高木学園女子高等学校PTA顧問)

夏休み中にもかかわらず急に涼しくなり、愚図ついた天気が続いていた8月28日、その日も朝からの曇り空更に電車の遅れが重なり、参加者の心もなかなか落ち着きません。

それでもなんとか開始時間までには全員揃うことができました。

この集まりの最大の目的は「公・私間の格差解消」です。代表者会の次第は例年通りではありますが、特に開催県である千葉や埼玉の報告資料は充実した内容で、公・私間格差解消に向けた熱い思いを感じました。他県の報告時間が短くなる位のボリュームです。

神奈川県下の私学への補助金額は相変わらず全国でも下から1〜2番目の低さです。この数字を見ると11月の神奈川県大会にて黒岩知事や政治家の先生方へ伝えることの重要性を再確認できます。

当日の資料をご覧になりたい方は事務局までお問い合わせください。

代表者会に引き続き行われた研修会は、千葉ロッテマリーンズ事業本部振興部の高坂氏と武藤氏が「先生方と歩むスポーツ教育」と題して、マリナーズが取り組むスポーツ教育について説明されました。「ボールと仲良くしてみよう(野球は教えない)」20年位前から技術的な理解をさせてから教える指導法に変わり、子供達の取り組み方も前向きになってきた」という話はとても参考になりました。

部活動発表の時間は桜林高等学校の和太鼓部・少林寺拳法部・書道部がコラボレーションした演目を見せてくれました。特に和太鼓は私達の全身を震わせるほどの音圧でした。少林寺拳法の技はキレがあり、書道の作品も大きく圧倒的な迫力でした。

来年度の開催はいよいよ私達の神奈川県です。ランドマークタワーの70階で開催します。これからも公・私間格差解消に向けた活動の続け、来年は立派な報告ができるように身を引き締めて帰路に着きました。



いじめ・暴力行為問題対策協議会報告

副会長 深 沼 昭彦
(横浜清風高等学校PTA常任顧問)

本年度最初の協議会が七月に開催されました。昨年に引き続きこの協議会に参加させて頂きありがとうございます。六年目になります。平成二五年にはいじめ防止対策推進法が公布され国がこの問題に対して非常に危機感を感じていることを示すものと思っております。私学においてもこの問題を最重要課題と位置付けされていることが目に見えます。

県民局次世代育成部私学振興課・課長代理萩谷英明様からは、

○私立学校における不登校・長期欠席の状況。

○私立学校におけるいじめの発生状況。

○私立学校における暴力行為の発生状況。

について報告を受けました。

いじめについては中学校が増加傾向にあり、そしていじめの認知件数は県によってばらつきがあるようです。暴力行為の発生件数は小学校が前年度に比べ増加しています。

その後、参加者間で協議をおこないました。日頃から保護者の皆さまは子供たちとコミュニケーションを持ち、見守ることを心がけていきましよう。日常生活の中でもあまり神経質になるのではなく、自然に見守ることを心がけていくことに尽きると思います。



高齢化が進めば進む程、一人一人にとっての

健康が今以上に求められる

―良き生活習慣を根づかせよう―

禁煙・分煙活動を推進する神奈川会議
会長 中山 脩 郎

今、日本は世界に類を見ない猛スピードで進む超高齢社会であり、今後もさらに進みます。このようにどんどん高齢化が進むとどんな社会になるのでしょうか。

私共が生活する神奈川県は2013年に人口の21%が高齢者で占められて超高齢社会(国としては2007年)となりしかもそのうちの約45%は75才以上であり、80才代44万990人、90才代8万4139人、100才代3488人となっています。

高齢者は加齢と共に病氣(主として慢性疾患「生活習慣病」)を持った人達が増えてきますが、この増え方が大問題です。病弱で医療機関に通える間とは角として、それだけでは済まなく要支援・要介護の介護保険認定者数は2004年は20万8115人、現在は33万8267人と約1.6倍。その多くは75才以上で今後この比率は右肩上がりです。進んでくるとしよう。しかも人間としての尊厳を失いつつある要介護度4あるいは5だけでも10年前の役1.7倍の7万5178人と深刻な状況です。

一方、皆さんは御存じかとは思いますが、この超高齢社会を支える生産活動に従事出来る人達(生産人口年齢者)は、今現在214人のこれらの人達が1人の高齢者の面倒をみていますが、2040年にはさらに減って1人で1人の高齢者の面倒をみざるを得ない程の少子・超高齢社会となっていきます。それだけに、現役世代、そして将来の日本社会を担うこども達に、良き生活習慣を根づかせていっまでも元気で仲よく、慢性疾患「生活習慣病」にならないようにすることです。慢性疾患は40才過ぎてから顕在化することが多いので以前は成人病と呼称されてきました。この様な病氣は、実は小児期からの悪い生活習慣の積重ねの結果なので現在は生活習慣病(がん、高血圧、糖尿病、肥満症、

動脈硬化症、脳卒中等々)と改められました。また最近、増加の一途を辿る認知症も生活習慣病の仲間入りとなるでしょう。

この様な現状の中で国は2000年に、国民の健康寿命を延長して活力ある持続可能な社会を築くことを目指す、21世紀の国民健康づくり運動(健康日本21)が策定され、2013年には生活習慣病の発症予防と重症化防止の徹底などの基本方向を設定しています。

先程も、こどもの頃から悪い生活習慣の持続が成人期以降の発病に大きく影響すると申しましたが、その大原因として食生活・運動・ストレス・不適切な飲酒・喫煙等が挙げられています。これからの貴重な生産人口年齢を迎える学童・生徒・学生に良き生活習慣を根づかせる事が今直ぐ求められているのと同じに、こどもの成長に直接かかわる御両親、御家族自身の健康にも関わる問題です。

こども達にとって悪い生活習慣に染まるキッカケは好奇心をそそる喫煙です。タバコはコカイン、ヘロイン等の麻薬よりも強い依存性を持つているため吸い始める中に遂にタバコ依存症になり生活習慣病に直結して行きます。

長らく禁煙・分煙問題にたずさわっていても近でも感じるのは、禁煙イベントでも、診察室の禁煙希望受診でも漠然としてタバコの害を認識している人が多く、例えば「ニコチンはどうな悪さをするんですか?」「発がんの原因じゃないですか?」ニコチン依存症形成、血管収縮です。と言った具合です。タバコには吸い易くするために約600種類の添加物が入っている火をつけて吸引時に900℃の高熱で燃え、約4000種類の物質が作られ、うち約200種類は有毒物質です。タール(発がん物質約60種類)、一酸化炭素CO(酸欠)は有名ですが、更に追加されるものとして、肺

内で大量に発生する活性酸素O₃(金属機械に例えるなら金属疲労・さびつく)―体内組織破壊、発がん等々。表1にその他の代表的毒物を列記してあります。長年に亘るこれらの毒物の吸引の結果として表2以外にもさまざまな発症を促します。最近になってクロロゾアツプされている認知症も非喫煙に比べ1.5〜2.5倍です。あれやこれやの多数の病気の発症と重症化に関わるので「タバコは毒物のカンヅメ」と言われる由縁です。

他の毒物に見られないタバコの特徴は気体なるが故に周囲の人(受動喫煙)にも健康被害を及ぼし―表3―そのため年間、心筋梗塞、肺がんだけで6803人(国立がんセンター2010年)で総計19000人(32000人が死亡していると推計されています)。

2013年3月11日、東北大震災での福島原子力発電所破壊→放射線漏れによる健康被害が私共の関心を高めました。国立がんセンターでは放射線を浴びての発がんや生活習慣が悪くて発がんの危険性の比較表が作られ、常習喫煙者や毎日3合飲酒者では放射線2000ミリシーベルト浴びて将来、発がんに相当するとのデータが発表されています。PM2.5問題等々は、字数の関係で割愛させて頂きます。

感受性豊かな伸び伸びした広い心を持つこども達が先々社会に巣立ち、将来ともにいつま

●表1

タバコの煙に含まれる化学物質	これらを含む商品例
アセトン	ペンキ除去剤
ブタン	軽油
ヒ素	蟻毒
カドミウム	カーバッテリー
アンモニア	肥料原料
ホルムアルデヒド	塗料(シックハウス症候群原因)
フェノール	消毒殺虫剤の主成分
ベンゼン	ガソリンの成分
シアン化水素	殺鼠剤
ダイオキシン	ごみ焼却煙
窒素酸化物	排気ガス
ニッケル	メッキ・電池
一酸化炭素	排気ガス
トルエン	工業溶剤
鉛	メッキ製品、ペンキ、ファスナ

●表3

受動喫煙による健康被害

<成人>

- 脳卒中
- 肺がん、副鼻腔がん
- 慢性気管支炎
- COPD・気管支喘息
- 喘息の誘発と悪化
- 動脈硬化、心筋梗塞、狭心症
- 早産
- 妊婦：低出生体重児

<子ども>

- 中耳炎(慢性中耳炎)
- 呼吸器感染症(気管支炎、肺炎)
- 喘息の誘発と悪化
- 慢性的呼吸器症状(喘鳴、咳、息切れ)
- 肺機能の低下
- 冠動脈への悪影響
- 乳幼児突然死症候群(SIDS)

●表2

喫煙による健康被害

がん

- 肺がん
- 白血病(急性骨髄性白血病)
- 口腔・咽頭がん
- 食道がん
- 膵臓がん
- 膀胱がん
- 子宮頸がん

循環器疾患

- 冠動脈疾患
- 脳卒中
- 末梢動脈疾患
- 腹部大動脈瘤

呼吸器疾患

- 慢性閉塞性肺疾患(COPD)
- 肺炎
- 喘息

生殖

- 低出生体重
- 妊娠合併症
- 不妊
- 乳幼児突然死症候群(SIDS)

その他

- 手術結果/治癒不良
- 股関節骨折
- 骨粗しょう症
- 白内障
- 胃潰瘍

でも元気で活躍してもらう為に、今から良き生活習慣を根づかせるには、それぞれの御家庭の御理解、御協力あつてこそです。

私共は、高齢者も含めてあらゆる世代が活き活きとした健康長寿社会の実現を目指して、医療メンバーが良き生活習慣の為のレクチャー、御相談会等々のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

保護者の願いを届けましょう！

神奈川県私立中学校・高等学校

振興大会

11月24日(火) 15時 パシフィコ横浜 会議センター メインホール

平成27年度も「神奈川県私立中学校・高等学校振興大会」を、私立中学高等学校協会・私学保護者会連合会主催、私学保護者会交流会の共催で開催します。

開催の趣旨は、神奈川県私立中学校・高等学校のより一層の振興を期して「神奈川県私立学校の決意と願い、及び努力を神奈川県民の皆さまにアピールする」ことを目的として、

- 1 改正教育基本法及び私学振興助成法の精神を十分に反映した私学振興策の着実なる実施
- 2 公私間の学費格差の是正や公立学校の協調
- 3 経常費補助（生徒一人当たりの単価）を国の財政措置額並の増額等を行政関係者及び議会関係者に要請

ということです。

当日の招待者（予定）は、神奈川県知事の黒石祐治様、県議会議長の土井隆典様、県私学審議会会長の中村省司様をはじめ、来賓として国会議員、県会議員をお迎えする予定です。参加者は、加盟校の理事長・校長・教職員及び保護者会から各校10～15名程度をお願いし、約1,000名の大会にしたいと考えております。

今年も多くの方のご参加を、よろしくお願い致します。

神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会

- 実施日** 平成27年11月24日(火)
- 会場** パシフィコ横浜 会議センター メインホール
- <交通>** JRまたは市営地下鉄「桜木町駅」より徒歩12分
みなとみらい線「みなとみらい駅」より徒歩3分
- 時程**
- ・受付 14:00～15:00
 - ・振興大会 15:00～16:30

平成27年度主な行事への出席

- ◆4月29日(水・祝) 「2015 中学相談会」 *パシフィコ横浜 (佐藤会長)
- ◆5月12日(火) 平成26年度5月理事会 (最終) 平成26年度会計監査
- ◆5月16日(土) 藤嶺学園藤沢中学校高等学校創立100周年式典
- ◆5月22日(金) 平成27年度定時総会・特別演奏会 *崎陽軒本店
- ◆6月24日(水) 関東地区私学保護連理事会 *千葉県千葉市 (佐藤会長、市川顧問、事務局)
- ◆7月15日(水) 神奈川県いじめ・暴力行為問題対策協議会 *私学会館 (佐藤会長、深沼・原・鴨下副会長)
- ◆7月17日(金) 日本私学保護連理事会・研修会 *東京都 (佐藤会長、深沼副会長・原副会長、事務局)
- ◆7月20日(月・祝) 「2015 全私学(中・高)展」 *パシフィコ横浜 (佐藤会長、深沼・鴨下副会長、吉成・深谷理事、前迫・金子監事、市川会計理事、市川顧問)
- ◆7月22日(水) かながわ地球環境保全推進会議総会 *県民センター (佐藤会長)
- ◆7月28日(火) 事務長会夏季研修会 *熱海後楽園ホテル (佐藤会長、深沼・鴨下副会長、吉成・深谷理事、市川会計理事)
- ◆7月29日(水) かながわ青少年社会環境健全化推進会議 *日産スタジアム (鴨下副会長)
- ◆8月18日(火) 理事長・校長研修会 *箱根湯本富士屋ホテル (佐藤会長、深沼・原・鴨下副会長、吉成・深谷理事、前迫監事、市川会計理事、市川顧問)
- ◆8月26日(水) 神奈川県公立高等学校協議会 *県民センター (佐藤会長)
- ◆8月28日(金) 関東地区私学保護連理事会・研修会 *千葉県千葉市 (佐藤会長、他役員10名)
- ◆9月8日(火) 県議会議長への請願 *県庁新庁舎 (佐藤会長、深沼・原副会長、前迫監事、市川会計理事)

これから行事予定

- ◆10月20日(火) 保護者会連合会・交流会「研修事業Ⅰ」 *富岡製糸場見学研修ツアー (佐藤会長、石田代表 約80名)
- ◆11月24日(火) 神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会 *パシフィコ横浜 会議センター メインホール
- ◆12月1日(火) 私学振興全国大会 *日比谷公会堂
- ◆2月(予定) 保護者会連合会・交流会「研修事業Ⅱ」 *講演会

神奈川県私立中学高等学校案内 ホームページ

<http://www.phsk.or.jp>

●内容 学校情報・入試情報・英文情報・学費補助

■発行者 『神奈川県私学保護者会連合会』 〒221-0833 横浜市神奈川区高島台7番地5 神奈川県私学会館内 ☎045(321)1901
■印刷所 『有限会社 イソノ』 〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-10-4 ☎045(753)2549